

国際交流賞・調査賞

2022年4月

国際教育センターでは、活発な国際交流活動を行った成蹊中学校の生徒及びグループ（学級、学年、委員会等）を表彰するために「国際交流賞」と「国際調査賞」を設けています。今年度もたくさんの応募を希望しています。過去の受賞作品例は担当教員に見せてもらうことができます。

1. 応募資格

- ① 成蹊中学校に在籍する生徒で、個人またはグループ（学級、学年、委員会等）。
- ② 応募締め切り日からさかのぼって、過去一年間の活動・調査を対象。ただし、それ以前から現在に至る継続的な活動・調査も可。

2. 対象となるもの

- ・「国際交流賞」：国内で行われた活動、海外で行われた活動のいずれでもよい。学校の教育活動だけに限らず、校外活動もその対象となる。活動内容についての分野は問わない。例えば、授業、自主的学習、文筆、芸術、スポーツ、ボランティアなど、個人、集団、地域活動などを通して行う「国際交流活動」で、成果をあげているとみとめられるもの。
- ・「国際調査賞」：国際的な問題について、自ら調査・研究を行い、その成果をエッセイにしてまとめたものを対象とする。

3. 選考

- ・ 中学高校国際教育部が一次審査を行う。
- ・ 国際教育センター国際賞審査委員会が最終審査を行う。

4. 応募書類 ※次の書類を取り揃えて、提出すること。

※詳しくは、後述の＜応募書類についての説明＞を参照。

- ① 応募用紙（中学高校国際教育部作成の所定用紙）
- ② 内容の概略
- ③ その他（一緒に提出したいもの）

5. 応募締切：2022年10月31日（月）締め切り

希望者は応募用紙を取りにくること（一学期中が望ましい）。またレポート内容について相談をしに来ること。

6. 応募書類提出先・相談先

・ 国際教育部（萱野先生・富塚先生・塩川先生）

7. 結果発表

- ・ 2学期末に発表。受賞者には賞状と副賞を授与する。
- ・ 朝礼で成蹊学園国際教育センター所長より、賞が授与される。

＜応募書類についての説明＞

応募書類は、次の要領でまとめ、一組として提出する。

※「応募用紙」は担当教員に取りに来る。

- ① 「応募用紙」一枚に必要事項を記入し、交流活動・調査内容の全体が一目でわかるようにする。
記入は本人が主体となるが、指導者が協力することを可とする。
- ② 「内容の概略」については、文章だけでなく、写真や作品などを自由に入れて表現する。内容については次の事項を含める。

- ・ 活動・調査の目的、そのきっかけや動機
- ・ 交流の実践活動内容や調査の成果
- ・ その活動・調査を通して考えたこと、苦労や喜び、感想など

- ◎ 応募書類は「すべて A4 版の大きさ」（応募用紙と同じサイズ）に統一して提出すること。
- ◎ 業者や団体が配布した資料をただ貼り付けて提出するのではなく、「自分が何を考え、取り組んできたか」をはっきりさせて、まとめること。

以上

国際交流賞・研究賞

国際教育センターでは、活発な国際交流活動を行った成蹊高校の生徒及びグループ(学級、学年、委員会等)を表彰するために「国際交流賞」と「国際研究賞」を設けています。今年度もたくさんの応募を希望しています。過去の受賞作品例は担当教員に見せてもらうことができます。

1. 応募資格

- ① 成蹊高校に在籍する生徒で、個人またはグループ(学級、学年、委員会等)。
- ② 応募締め切り日からさかのぼって、過去一年間の活動・研究を対象。ただし、それ以前から現在に至る継続的な活動・調査も可。

2. 対象となるもの

- ・「国際交流賞」：国内・海外で行われた『国際交流活動』の報告レポート。活動内容についての分野は問わない。例えば、国内外のワークショップや交流プログラム・イベント・芸術・スポーツプログラムへの参加、ボランティアなど、個人、集団、地域活動などを通して行う『国際交流活動』で、成果をあげているとみとめられるもの。
- ・「国際研究賞」：国際的な問題について、自らリサーチ・研究を行い、その成果を小論文にしてまとめたレポートを対象とする。

3. 選考

- ・ 中学高校国際教育部が一次審査を行う。
- ・ 学園の国際教育センター国際賞審査委員会が最終審査を行う。

4. 応募書類 ※次の書類を提出すること。

※詳しくは、後述の<応募書類についての説明>を参照。

- ① 『国際交流賞』または『国際研究賞』に応募するレポート
- ② 応募用紙(中学高校国際教育部作成の所定用紙)
- ③ その他 一緒に提出したいもの(写真など)

5. 応募締切: 2022 年 10 月 31 日(月)締め切り

希望者は応募用紙を取りにくること(一学期中が望ましい)。またレポート内容について相談をしに来ること。

6. 応募書類提出先・相談先

- ・ 高校国際教育部 塩川先生(社会科)・富塚先生(英語科)

7. 結果発表

- ・ 2 学期末に発表。受賞者には賞状と副賞を授与し、作品は公表される。



<応募書類についての説明>

応募書類は、次の要領でまとめ、一組として提出する。

※「応募用紙」は担当教員に取りに来る。

- ① 「応募用紙」一枚に必要事項を記入し、交流活動・研究内容の全体が一目でわかるようにする。
記入は本人が主体となるが、指導者が協力することを可とする。
- ② 応募する『レポート』作品については、文章だけでなく、写真などを入れて読者にわかりやすくまとめる。『レポート』作品の内容については次の事項を含める。

- ・ 活動・研究の目的、そのきっかけや動機、交流団体の概要
- ・ プログラム説明、実践活動や研究の内容、その成果
- ・ 交流・研究を通して考えた考察、感想、将来への展望など

- ◎ 応募書類は「すべて A4 版の大きさ」(応募用紙と同じサイズ)に統一して提出すること。
- ◎ 団体が配布した資料をただ貼り付けて提出するのではなく、「自分が取り組んできたこと、そこで何を考え、どのような変化をもらたしたかをはっきりさせて、まとめること。

以上